

北米テクニカルセンター

KOYO CORP. OF USA TECHNICAL CENTER, A-TEC

1. 設立の経緯

1991年にミシガン州デトロイト郊外のプリマス市に、北米テクニカルセンター(以下A-TECと称す)が設立され、10年目を迎えました。五大湖に囲まれたミシガン州(インディアン語で偉大なる湖)デトロイト(フランス語で海峡)は、ご存知のようにアメリカ自動車産業(GM, フォード, 旧クライスラーのビッグ3)の本拠地であります。2001年は、フランス人キャデラックがフランス国王ルイ14世の命によりこの地に最初に入植した1701年から数えて300年ということで、大規模なフェスティバルが数多く企画されています。また日米市長会議開催も予定されています。

さて、光洋アメリカ(以下KCUと称す)は、1958年に設立されましたが、その後1967年にこのデトロイトにも営業拠点を築き、さらに1975年には製造拠点をサウスカロライナ州に設立しました。そして、1991年にビッグ3やその他のお客様へのデザインイン、KCU社内の技術開発拠点としてA-TECを設立し、今日に至っています。

2. 活動内容

2.1 実験部門

1991年からスタートしたA-TEC実験調査部門は、1997年の第一次拡大計画の実施を経て、今では90%以上の現地対応を達成しています。

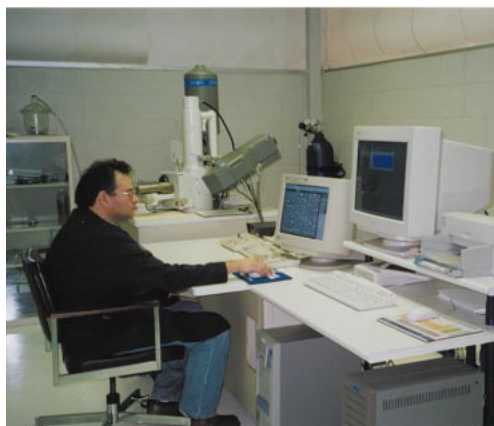
設備面でも計画的に充実強化を進めた結果、現在では特殊な目的のもの以外はすべて対応可能です。これらの代表例を以下に示します。

- ・測定機器 : 寸法・真円度・形状・3次元測定器や微小膜厚測定器, 材料硬度などの物性測定器, 音響検査装置 他
- ・観察・分析機器 : 各種顕微鏡観察装置, 赤外線分光分析装置 他
- ・材料試験機 : 引張圧縮試験機, 高低温試験機 他
- ・試験機 : 各種耐久試験機, 耐環境試験機, アクスル実機試験機 他



2.2 設計部門

1992年からスタートしたA-TEC設計部門も、顧客への納入図面、生産工場への製作図の設計から、今では3次元CADデータの双方向通信、FEM解析、さらにはデトロイトの地の利を生かした顧客との技術会議、技術セミナーの実施と幅広く活躍し、セールス部門をリードしています。また、工場部門や現地サプライヤーとのテレビ会議、管理部門も含めた全社会議では、新製品開発、VE/VA推進、プロジェクト管理とその活動分野も広がっています。



2.3 品質部門

1999年からスタートしたA-TEC品質部門は、アメリカ製品のみならず、日本品、ヨーロッパ品、中国、東南アジア品を含めた世界中のKoyo製品の品質管理の責務を負っております。したがってサプライヤー、工場部門、管理部門、セールス部門や、A-TECの設計、実験調査部門と連携して、新規開発品の各ステップ毎の評価、問題点の早期発見、解決に力を注いでいます。またこれにより、QS-9000 / ISO9001, ISO14000活動の要として品質と環境対応のKoyoを引っ張っています。

3. 今後の展望

デトロイト近郊のワーレン市、ポンティアック市のGM、ディアボーン市のフォード、アーバンヒルズ市、デトロイト市のダイムラー・クライスラー技術開発拠点だけでなく、DELPHI, VISTEON, BOSCH, DENSO, TRWなどのTIER-1,さらにはトヨタ自動車、

その他の日系自動車メーカーのテクニカルセンターと、MOTOWN(Motor Townの略)の名にふさわしく世界の自動車、自動車部品メーカーがこのデトロイト周辺に一極集中し、またデトロイトダウンタウンのCOBOホールで毎年開催されるSAE(アメリカ自動車技術者協会)総会に代表される自動車技術者の集約度の高さが、我々A-TECメンバーの誇りであり、同時にその責任の重さに身が引き締まる思いであります。また、インターネットに代表される日常の通信手段の変化、データ解析におけるデジタル化とバーチャル化、ラボ集中管理という内からの変革を重ね合わせるとともに、日本、ヨーロッパ(オランダ)のテクニカルセンターとの3極体制の最適化をはかり、最強の技術開発集団として今後とも大きく伸びていきたいと思っています。



(光洋アメリカ 藤井 博)